

經濟論叢

第193巻 第2号

岡田知弘教授退職記念號

献辞	江上雅彦	
論 文		
オランダ農業モデルの多様性—フードバレーの現実と多面的機能を活かした農業の可能性—	久野秀二	1
軍事と経済の三階層（国家・地域・国際）—マクナマラ国防改革とF111戦闘爆撃機計画・C5A輸送機計画を中心に—	坂出健	39
原発事故避難指示区域の商工業復興支援のあり方—官民合同チームの意味—	山川充夫	59
交付金使途拡大政策と自治体財政—電源三法交付金を中心に—	川瀬光義	85
中山間地域の内発的発展と主体形成	多田憲一郎	107
フィリピンとベトナムにおける国内再投資力の比較—經常収支および企業の投入要素を中心に—	ジョン・ランビーノ	127
垂直分裂と垂直再統合—IT／エレクトロニクス産業における現代大量生産体制の課題—	森原康仁	157

岡田知弘 教授 略歴・著作等目録

平成31年4月

京 都 大 学 経 済 学 會

〔京都大学経済学会役員〕 (五十音順)

	ステイーブン・E・アイビンス		アスリ・M・チヨルバン
	秋田 祐 哉		徳賀 芳 弘
	砂川 伸 幸		西田 祐 慎
	依田 高 典		根山 井 川
(評議員長)	宇仁 宏 幸	(学会委員)	長原 久 久
(学会委員)	江上 雅 彦		野 野 本 井 井
(学会委員)	北谷 弥 樹		富 井 野 内 田 喜
	草田 澤 文		安 矢 山 山 遊 劉 若 若 渡
	黒野 出 紀	(監査委員)	
	高坂 啓 紀	(主 委 員)	
	佐々木 哲 直	(学 会 委 員)	
	澤塩 島 神 末 梢 関 武 竹 田 千		
	田 千		

——既 刊 目 次——

第 193 卷 第 1 号

小島専孝教授退職記念號

献 辞	江 上 雅 彦
論 文	
ロバートソン『産業変動の研究』とアフタリオン	小 島 専 孝
初期ケインズの講義と貨幣理論	伊 藤 宣 広
チュルゴの「価値と貨幣」	黒 木 龍 三
「論理」を發掘する経済学史研究	
—小島教授のホートリー・コネクション再考—	吉 田 雅 明
経済学1933年—現代経済学の胎動—	根 井 雅 弘
J. R. コモンズのヴェイクセル利子理論批判	
—R. G. ホートレーの影響を中心に—	宇 仁 宏 幸
カレツキアン・モデルの基本骨格	
—短期モデルと長期モデル—	佐 々 木 啓 明
経済学における「曖昧性」の解釈	若 井 克 俊

小島専孝教授 略歴・著作等目録

執筆者紹介（掲載順）

久野秀二	京都大学大学院経済学研究科教授
坂出健	京都大学大学院経済学研究科准教授
山川充夫	福島大学名誉教授
川瀬光義	京都府立大学公共政策学部教授
多田憲一郎	鳥取大学地域学部教授
ジョン・ランビーノ	京都橘大学現代ビジネス学部准教授
森原康仁	専修大学経済学部准教授

平成31年3月29日印刷
平成31年4月5日発行

編集兼
発行人

京都大学経済学会

発行所

京都大学経済学会
606-8501 京都市左京区吉田本町
振替口座01090-6-17219番

制作発売

京都大学学術出版会
606-8315 京都市左京区吉田近衛町69



9784814002214

ISBN978-4-8140-0221-4 C3333 ¥2380E

定価：本体 2380円(税別)



1923333023807

Keizai-Ronzo

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 193, No. 2

April 2019

In Commemoration of the Retirement of Professor Tomohiro OKADA

CONTENTS

Dedication to Professor Tomohiro Okada *Masahiko EGAMI*

General Article :

Diversity of Dutch Agriculture: Realities of Food Valley and Possibilities
of Multifunctional Agriculture *Shuji HISANO*

Three Levels of Defense and Economy: The McNamara Defense Reform and the F111
Fighter-bomber / the C5A Military Transport Programs..... *Takeshi SAKADE*

How to Support Commercial and Industrial Reconstruction in the Nuclear
Accident Evacuation Direction Area: Significance of the Public-private Joint Team
..... *Mitsuo YAMAKAWA*

On the Deregulation of the Policy that a Country Confines the Purpose for which Grant is
Spent to: A Case Study on Grants to Smoothen Construction and Operation of Power
Generation Facilities *Mitsuyoshi KAWASE*

Endogenous Development and Construction of the Community Organization
in Hilled Rural Areas..... *Ken-ichiro TADA*

Local Power for Economic Reproduction of the Philippines and Vietnam:
A Comparative Study Focusing on Current Account Balance and Enterprise Inputs
..... *John X. LAMBINO*

Vertical Dis-integration and Vertical Re-integration: Limits to the Current
Mass Production System *Yasuhito MORIHARA*

Brief Biography of Prof. T. Okada / Bibliography of Prof. T. Okada's Works

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI
(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)

経
済
論
叢
平成三十一年四月五日発行

『経済論叢』 投稿・執筆要領（抄）

2018年6月1日
京都大学経済学会委員会

1. 本誌通常号の「論文」には、本学会会員、および本学会評議員の推薦がある非会員が投稿することができる。本誌通常号の「研究ノート」、「書評」、「調査・サーベイ」には、本学会評議員、および本学会評議員の推薦がある者が投稿することができる。
2. 本学会会員の投稿料は無料とする。本学会評議員の推薦がある非会員が投稿者である場合は、投稿料を10,000円とする。但し、依頼原稿は投稿料を徴収しない。
3. 本誌通常号の「論文」に、本学会評議員・名誉会員以外の者から投稿があった場合は、レフェリー2名で審査を行う。但し、修士課程または博士後期課程に在籍する者の投稿論文は、論文執筆明細の指導教員の欄に署名がある場合に、レフェリー1名で審査を行う。レフェリー審査に基づき本学会委員会が掲載の可否〔(1)掲載可、(2)改訂の上、掲載可、(3)改訂の上、再審査、(4)掲載不可〕を決定する。また、レフェリー審査を受けた論文については、掲載時に「査読付き論文」である旨を明記する。
4. 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に帰属する。したがって、他で当該論文等を使用する場合は、本学会の許諾が必要になる。
5. 本誌に掲載された論文等の全文をデータベース化し、京都大学図書館機構が運営する京都大学学術情報リポジトリ KURENAI に公開する。
6. 原稿は横書きとし、完全原稿であること。A4版横書き1ページ35字×30行で作成した投稿論文の電子ファイル一式（マイクロソフト・ワードによるもの。図表も電子ファイル化すること。）を電子メールの添付ファイルで、投稿者である責任著者が本学会に送付する。
7. 投稿者である責任著者は、本学会ホームページにある論文執筆明細をダウンロードし、論文執筆明細の電子ファイルを投稿論文の電子ファイル一式に添えて、電子メールの添付ファイルで本学会へ送付する。論文執筆明細には、日本語タイトルと氏名、英語タイトル、ローマ字表記氏名、所属機関、連絡先住所、電話番号、Eメールアドレス、および、投稿者が学生の場合は指導教員署名を記入すること。
8. 投稿論文の制限字数は下記のようにする。
『経済論叢』 論文：24,000字以内。
研究ノート：12,000字以内。
書評：8,000字以内。
調査・サーベイ：34,000字以内。
図版および表は1枚400字に換算する。
9. 論文の執筆には原則として現代かなづかい、常用漢字を用いること。

以上